

地域密着型金融の取組み状況

(令和5年4月～令和6年3月)

倉吉信用金庫

1. 地域密着型金融推進の基本方針

当金庫の経営方針は、『創業の原点である相互扶助の精神を大切に、「地域の為に貢献する」という使命感を再認識し、今こそ地域社会の再生と活性化を目指し「使命共同体」としてその中核となって、中小零細な地元企業の支援、地域住民の豊かな生活の向上、活力ある地域社会の実現に向けて貢献し、そのために強固な経営基盤をさらに確固たるものにし、“小さくても最良のくらしん”を実現すること』であり、地域社会の再生と活性化なくして当金庫の発展はないという認識の下で、地域密着型金融推進に継続して取り組んでいきます。

2. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

《取組方針》

地域金融機関としての特性を発揮し、地域情報ネットワークの活用と、継続的取引関係を通じ、取引先中小企業の創業から成長段階（ライフサイクル）に応じたきめ細かい支援を行うことで、地域の金融円滑化の役割を担っていきます。

(1) 創業、新事業への積極的な支援

創業、新分野進出に関する支援は、地域情報ネットワークを活かし積極的に対応しました。

■新規参入・新分野進出への支援

令和5年度実績・・・8先9件59百万円

(2) 燃油及び原材料価格の高騰・円安の影響による資金繰り支援

燃油及び原材料価格の高騰・円安の影響を受けている事業者に対して、鳥取県の地域経済変動対策資金やプロパー資金を活用し、資金繰り支援に取り組みました。

■地域経済変動対策資金

令和5年度実績（受付ベース）・・・53件443百万円

■プロパー貸出

令和5年度実績（受付ベース）・・・5件154百万円

(3) 事業再構築補助金の申請支援

令和5年度は、お取引事業者のアフターコロナを見据えた新事業の取組みを支援するため、事業再構築補助金の申請を外部機関と連携し、2先支援を行いました。

また、その他の公的補助金の申請支援も積極的に行いました。

(4) 事業及び企業の積極的な再生支援

新型コロナウイルス感染症、燃油及び原材料価格の高騰・円安の影響を受けているお取引先事業者の経営改善支援のみならず、資金繰り支援の一環として、貸出金の返済軽減等の申込みに対して真摯に対応しました。

■貸出条件の変更等の申込みに対する対応

令和5年度実績（受付ベース）・・・103件 1,033百万円

（うち、新型コロナウイルス感染症、燃油及び原材料価格の高騰・円安関連
76件 803百万円）

■お取引事業者の本業支援に向けた外部支援機関の積極的な活用

- ・令和5年度に、外部認定支援機関と連携した支援案件は5先でした。
- ・今後も地域金融機関として外部支援機関との連携をより一層深め、お取引先事業者の支援に努めます。

■企業再生支援先の経営改善指導

- ・令和5年度は、経営改善支援先を28先（うち、重点先3先）選定し、経営者とのヒアリングを基に経営改善指導を実施するとともに、営業店長と計画や改善策の進捗状況について協議を行いました。

期初 債務者数 （除く正 常先）	うち 経営改善 支援取組 み先数	うち 期末に債 務者区分 がランク アップし た先数	うち 期末に債 務者区分 が変化し なかった 先数	うち 再生計画 を策定し ている先 数	経営改善 支援取組 み率	ランクア ップ率	再生計画 策定率
578	28	1	25	21	4.84%	3.57%	75.00%

3. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

《取組方針》

定性情報を含めた地域の情報を活かし、取引先の事業価値を見極める、いわゆる「目利き力」を発揮することで、取引先中小企業に対して積極的に資金供給を行っていきます。

(1) 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進

■売掛債権担保融資の推進とABLの検討

令和5年度新規取組実績・・・1件 30百万円でした。

- ・太陽光発電事業者に対し、動産担保（発電設備）及び売電債権担保での取組

み 1 件 30 百万円

(2) シンジケートローンの組成と参加

令和 5 年度は、シンジケートローンへの参加はありませんでした。

(3) 目利き能力の向上

- ・令和 5 年 11 月に、中小企業基盤整備機構の地域支援機関等サポート事業を活用し、外部講師を招き「第三者承継支援」、「ITDX 活用支援」の内容で融資レベルアップ研修を実施し、当金庫の若手職員を主体に 11 名が参加しました。
- ・令和 5 年 11 月に、中国税理士会倉吉支部の会員様方と当金庫の営業店長を中心とした 7 名が、地域やお取引先事業者の経営課題等に関する意見交換を行いました。
- ・その他、各種外部研修やセミナーに多くの職員を派遣し、職員個々のスキルアップに努めました。

4. 経営者保証に関するガイドラインの活用状況

《経営者保証に関するガイドラインへの取組》

令和 5 年 4 月 1 日より監督指針の改正が施行され、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を踏まえ、経営者保証に依存しない新たな融資慣行の確立に向け、ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させるための「経営者保証に関する取組方針」を策定し、令和 5 年 9 月にホームページ等で公表しました。

また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて検討し、適切な対応に努めています。

令和 5 年度の経営者保証に関するガイドラインの活用状況は以下のとおりです。

■新規融資対応

新規に無保証で融資した件数	120 件
保証契約を解除した件数	22 件
監督指針に基づく適切な対応を行った割合	93.47%

■代表者交代時の対応

旧経営者との保証契約を解除し、かつ、新経営者との保証契約を締結しなかった件数	3 件
旧経営者との保証契約を解除する一方、新経営者との保証契約を締結した件数	12 件
旧経営者との保証契約を解除しなかったが、新経営者との保証契約は締結しなかった件数	0 件
旧経営者との保証契約を解除せず、かつ、新経営者との保証契約を締結した件数	0 件

5. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

《取組方針》

この地域のみが信用金庫の存立基盤であり、金融の仲介は当然として、親睦、研修、情報交換、ボランティア等さまざまな面で中心的な役目を果たし、顧客・地域の活力作りに貢献することにより、地域に必要とされる金融機関であるため、各種の施策を通じて地域経済活性化、地方創生への取り組みを行っていきます。

(1) 地方創生への取組

地方創生への対応として、平成 27 年 4 月に地方創生担当部を設置、営業店長を地方創生担当者として全店に配置し本部と連携を図り地方版総合戦略に積極的に関与できるよう体制を整備しました。

地方版総合戦略の推進に向けて地元自治体、経済団体等と連携を図り、個別施策について金庫の持つ知見等を生かした機能を発揮し協力・連携を行っています。

令和 2 年度より、持続可能な地域社会の実現に積極的に貢献していくことを目的として、山陰地区 6 信用金庫による SDG s の推進に関する連携協定を締結すると共に、当金庫の「SDG s 宣言」を公表しました。

- ・令和 2 年 10 月、「鳥取県倉吉市の歴史的資源を活用した観光まちづくりの推進に向けた連携協定」を締結しました。現在、歴史的建造物のリノベーション・再整備による宿泊施設等建築の事業が進められており、当金庫は地元金融機関としてこの事業に関与しています。
- ・令和 3 年 2 月、信金中央金庫が実施する企業版ふるさと納税制度を活用した地域創生スキーム「SCBふるさと応援団」に、当金庫が倉吉市の地域創生事業「倉吉市中心市街地振興ビジネス活性化支援事業」を推薦し、信金中央金庫から倉吉市に対して 1,000 万円の寄附金が贈呈されました。
- ・山陰地区 6 信用金庫による SDG s の推進に関する連携した取組みとして、企業版ふるさと納税制度を活用して、SDG s の趣旨に則り、持続可能な地域社会の実現に向けて構成員である住民のみなさまへの支援を目的として、鳥取県 3 金庫は島根県、島根県 3 金庫は鳥取県に対して各 300 万円ずつ寄附を行いました。

(2) 地域貢献に資するイベント・行事の開催と、地域経済活性化への取組み

文化・芸術の発展と街の賑わい創出に向けて、地元新聞社が主催する著名人による写真、絵画等の展覧会の特別協賛を継続するほか、以下の活動を行いました。

- ・令和 5 年 4 月 8 日から 5 月 7 日までの期間、倉吉博物館におきまして「ヨシタケシンスケ展」が開催され特別協賛しました。絵本作家・イラストレーター・造形作家として活躍するヨシタケシンスケさんの大規模展覧会であり「頭のなか」をテーマに、複製スケッチ、絵本原画や立体造形物等の中から約 400 点が展示され若者から家族連れまで幅広い世代で多くの来場者があり活況でした。

- ・令和5年12月、新年を気持ちよく迎えていただくことを目的として、恒例となっている福祉施設2先に対する新米寄贈を行い、入所者のみなさんに大変喜んでいただきました。

(3) ビジネスマッチングの推進

コロナ禍以降、ビジネスマッチング商談会等の企画・開催の機会が減少したため、お取引先事業者の販路拡大支援ニーズは高まっています。

当金庫はオンライン上でのビジネスマッチングが可能な「しんきんコネクト」を導入して、信用金庫業界の全国ネットワークを活用した販路拡大等の本業支援を実施しています。現在、お取引先事業者31先が情報掲載しており、当金庫も管理画面により、ニーズ掲載情報や商談の進捗状況を把握することで、事業者同士の仲介役となるコーディネーターとしてサポートを実施しています。

(4) カーボンニュートラルへの取組支援

国内外においてカーボンニュートラルの取組みが加速する中、地区内事業者においても脱炭素化への関心が高まっています。

当金庫もお取引先事業者の脱炭素化を支援するため「e-dash(株)」との業務提携を締結して、二酸化炭素排出量の可視化、削減提案、脱炭素化に向けたロードマップ策定等の取組みを支援しています。